

平成21年8月7日

各 位

本 社 所 在 地 東京都港区赤坂三丁目21番20号
会 社 名 株式会社キャリアデザインセンター
代 表 者 の 役 職 名 代表取締役社長兼会長 多田 弘實
(コード番号: 2410)
問 合 せ 先 専務取締役経営企画本部長 森 雄三
電 話 番 号 03-3560-1601
(URL <http://type.jp/ir/>)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月10日に公表した業績予想および平成20年11月17日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年9月期通期業績予想数値の修正（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

(1) 修正の内容

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	2,745	△915	△910	△985	△16,522.69
今回発表予想(B)	2,120	△1,275	△1,260	△1,350	△22,861.59
増減額(B-A)	△625	△360	△350	△365	—
増減率(%)	△22.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年9月期)	4,516	84	89	28	484.73

(2) 修正の理由

当社を取り巻く経営環境が急激に変化をしている中、当社は新しいマーケットの開拓や、商品価値の更なる向上に努めて参りました。しかしながら、以下の理由により、売上高・利益ともに平成21年2月に修正致しました業績予想を下回る見込みとなっております。

昨年から続く景気後退の動きは、年明け以降においても急速に進行し、企業業績は予想を上回るペースで悪化を続けています。一部の企業では改善の兆候も見られますが、雇用情勢は依然として厳しい状況が続いており、多くの企業で採用を控える傾向が強まっております。その結果、平成21年6月の全国における有効求人倍率は、過去最低の水準となる0.43倍にまで落ち込んでおり、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

キャリア情報事業につきましては、この景況感悪化の影響により、当社の強みである「エンジニア」マーケットの多くの求人企業が採用計画の延期・凍結や、採用予算の縮小を進めております。このような状況にあって、当社の「エンジニア」マーケットの取引社数は減少し、同時に求人企業1社に対して競合他社が集中していることから価格競争も激化し、年初の業績修正時に想定していたよりも1社当たりの取引単価が下落しております。一方、「女性」マーケットにおいては1社当たりの取引単価が上昇し、「営業」マーケットにおいては依然として採用ニーズは堅調な推移を示しておりますが、「エンジニア」マーケットの落ち込みによる影響が大きく、売上高の減少を防ぐことができませんでした。

人材紹介事業につきましても、1件当たりの成約(取引)単価が求人広告モデルに比べて高く、求人企業の採用予算が縮小していることから、1件当たりの成約(取引)単価が下落する傾向にあります。また、登録者の獲得は引き続き順調に推移しているものの、求人案件数の下落が大きく、成約マッチング率の向上が困難な状況にあります。

今後につきましては、業界トップクラスの月間100万人を超える訪問者数の獲得を実現している『@type』をより一層強化して参ります。『@type』においては、会員獲得状況が順調であることにより、求人広告掲載企業1社当たりの応募効果も好調に推移しております。これを受けて、当第2四半期より販売を開始した成果報酬型の求人広告モデルの取引社数は増加しており、今後はリピートの促進を目指すべく、引き続き拡販を進めて参ります。また、「女性」マーケットにおいては、恒常的に採用ニーズが高い「介護」マーケットを新たに開拓し、「営業」マーケットにおいては営業職のみならず、販売・サービス職の取り込みの強化も図っております。

一方、利益面につきましては、年明けからコスト削減施策を進め、情報誌2誌の休刊・自社採用（新卒・中途）の凍結に加え、広告宣伝費、人件費（役員報酬の減額、従業員賞与・給与の減額など）を大幅に削減した結果、前期と比べて約10億円のコスト削減を実現しつつあり、今後も全社一丸となって更なる削減を目指して参ります。

以上により、今期につきましては、売上高の減少が要因となり、業績予想の修正を行わざるを得ない結果となりました。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株あたり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
前回予想	—	未定	未定
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	—		
前期実績 （平成20年9月期）	—	1,000	1,000

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、内部留保充実の必要性和財政状態等を総合的に勘案したうえで、経営成績にあわせた利益配分を基本方針としております。

今期につきましては、前述の通り平成21年9月期における当社の業績予想は大幅な当期純損失を見込んでおりますので、誠に遺憾ではありますが、今期の配当を見送らせて頂きたいと存じます。

早期の復配を目指し収益性の向上に努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。